

# 「アウトドアチャレンジ」にゆめっと京都が協力

(平成23年6月26日、11月20日)

今年度もアウトドアチャレンジ京都会場が開催されました。この事業は、青少年の自然体験活動の普及を目的にボーイスカウト日本連盟が中心となり、京都会場では、ボーイスカウト京都連盟と関係団体が合同で実行委員会を組織し実施されています。今年度は、6月26日(日)に下賀茂神社 糺の森、11月20日(日)に京都市立御池中学校にて実施されました。当日は、くつひもの結び方や、脈を測るなどの普段の生活に密着した体験ができるコーナーや、丸太切り体験、古代の火おこしなどの、日常ではできない体験、手旗信号や、指定された重さをいろんなものを使って当てるという、いざというときに役立ちそうな体験ができるコーナーなど、様々な体験ができるコーナーが準備されました。

この事業の実行委員会にゆめっと京都も協力させていただきました。当日は「においの達人」という、いろんなものをにおいだけで判断する検定コーナーの運営を行いました。また、昨年度に続き、京都府立木津高等学校のボランティア部の生徒さんと久保田教諭にも協力いただきました。この検定では、子どもたちの身近にあるものの「におい」を感じてほしいと思い、調味料や食品を中心に選びました。普段よく目にする調味料や食品でも、においを嗅いでみるといろんな感じ方があるようで、体験した子どもたちは、身近なものの「におい」に関して、それぞれが気づきを得たようでした。今回参加してくれた子どもたちには、そんな気づきを大切にしたいと思えます。人は情報のほとんどを視覚から得ていると言われますが、この検定では視覚に頼らず嗅覚だけで判断することの難しさを実感してもらえたように思います。嗅覚という本来人間に備わっている感覚の重要さに気づいてもらえたのではないのでしょうか。この検定を体験した子どもたちの声を聞き、私自身も改めて五感を使って感じることの大切さに気づかされました。今後もこの野外力検定を通じて、子どもたちがいろんな体験をし、いろんなことを感じてくれることを期待しています。

また、この事業はゆめっと京都の「ゆめ企画助成事業」として実施されました。このように体験を通じて青少年の育成に寄与できる事業をゆめっと京都は今後も支援していきたいと考えております。

最後になりましたが、アウトドアチャレンジ京都会場は、今年度で3回目の開催でしたが、回を重ねるごとに実行員会に新たな団体が参画されています。その中には、地域の団体も数多く入っておられます。このような事業を通じて、今後もネットワークを広げていかれることを願っています。

ゆめっと京都役員 澤田猛志

